

ひよし
日吉ダム 洪水に対し防災操作を実施
ほづばし
保津橋地点のはん濫危険水位超過を回避

淀川水系桂川の水資源機構日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、前線の停滞による降雨により、9月6日23時から10日19時までの総雨量が184mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒663立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムは防災操作を実施し、最大流入時に約81%（毎秒540立方メートル）の水をダム貯水池に貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を約1.28メートル低減し、はん濫危険水位（4.00m）の超過を回避したものと想定されます。

※防災操作：大雨による出水に備えて、貯水池の空容量を確保するための操作及び、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的に貯め込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

平成30年9月14日

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

前線に伴う洪水に対し操作を実施

淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、前線の停滞により、9月8日3時から4時までの1時間の雨量が44.3mmを記録し、降り始めの9月6日23時から10日19時までの総雨量が184mmに達しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、8日4時00分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達しました。

8日6時10分には、最大流入量が毎秒663立方メートルに達しましたが、流入量の約81%（毎秒約540立方メートル）を低減させ、同時刻におけるダム流下量を毎秒123立方メートルとしました。

操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム流下低減
日吉 ダム	184 mm	平成30年9月8日 6時10分	毎秒663m ³	毎秒123m ³	毎秒540m ³ (約81%)

洪水に対する操作では、ダム下流の保津橋地点（^{ほづばし}亀岡市保津町下中島地^{かめおかしほづちようしもなかしま}先）の最高水位は3.72mとなりました。もし、ダムが無かった場合には、同じ保津橋地点の水位は5.00mと推定されます。

保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合の同 地点の最高水位(推定)	水位低減効果 (推定)
平成30年9月8日 6時10分	3.72m	5.00m	約1.28m

日吉ダムでは、今後もダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

管理開始（平成10年4月）以降の最大流入量大きい主な出水と今回の記録

順位	出水名	流域平均 総雨量 (mm)	最大 流入量 (m ³ /s)	最大流入時 流下量 (m ³ /s)	最大流入時 貯留量 (m ³ /s)	最大放流量 (m ³ /s)
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546	504
2	平成30年 8月 台風20号	204	1,333	72	1,261	149
3	平成26年 8月 前線	215	1,292	43	1,249	150
4	平成30年 7月 梅雨前線	492	1,258	149	1,109	907
9	平成30年 9月 前線	184	663	123	540	149

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量大きい方から4番目までと今回を記載しています。

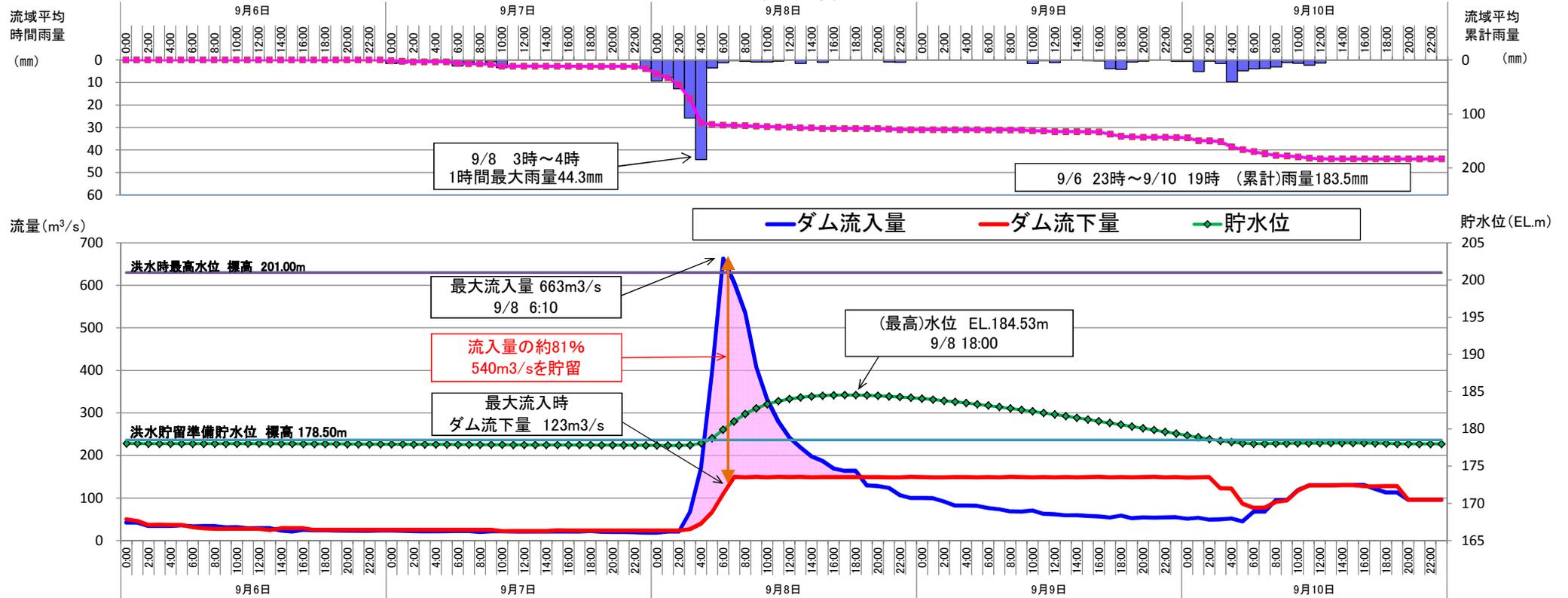
※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

前線の降雨に対する日吉ダムへの操作について

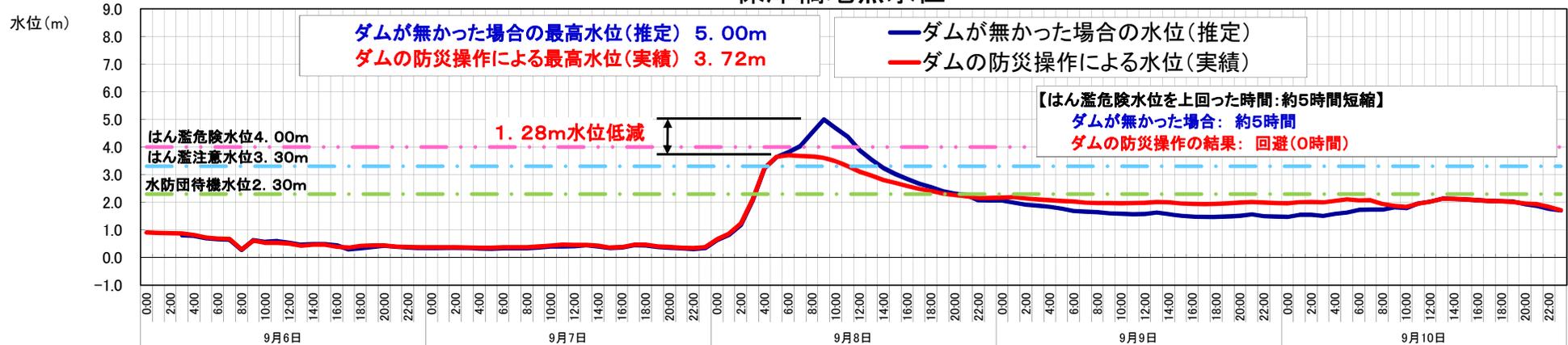
日吉ダム最大流入時に約81%を貯留、ダム下流の河川水位を低減

資料2

日吉ダム防災操作図



保津橋地点水位

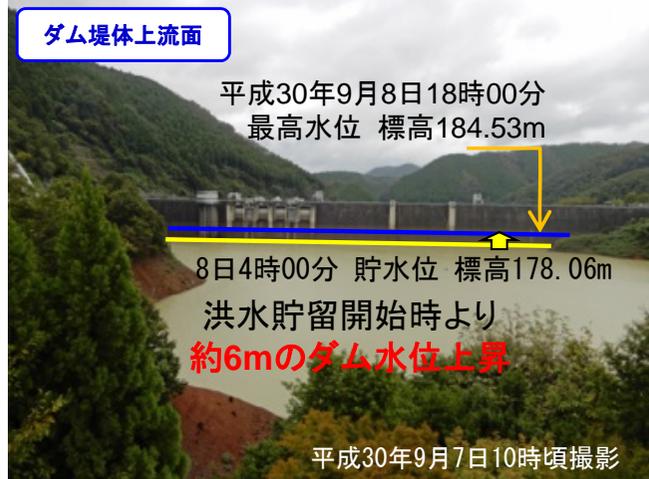


日吉ダム 前線に伴う洪水に対し操作を実施

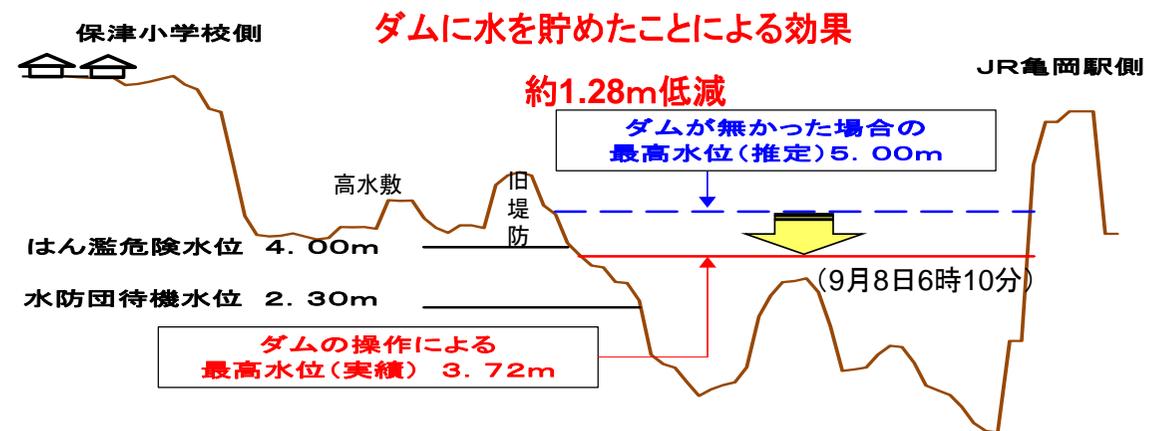
- 淀川水系桂川の日吉ダム流域では、前線の停滞により、最大の時間雨量は8日3時から4時にかけて44.3mm、降り始めからの総雨量は6日23時から10日19時までに184mmを観測しました。
- この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒663立方メートルを記録しましたが、防災操作により、最大流入時に約81%（毎秒約540立方メートル）の水をダムに貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。
- この操作で、京セラドーム大阪※約8杯分（930万立方メートル）の水をダムに貯め込むことにより、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の最高水位は3.72mとなりました。もし、ダムが無かった場合には、同じ保津橋地点の水位は5.00mで、約1.28mの水位低減があったと推定されます。（※京セラドーム大阪の容量を120万立方メートルとして算出）



最大流入時に、ダム流下量を流入量の約81%を低減し、京セラドーム大阪約8杯分の水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。



保津橋地点（保津川下り乗船場付近）



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。